

飯沼英樹 「美女」



Flamboyance vanity, 2011, cypress, h130x70x180cm

会期：2011年7月8日（金） - 7月24日（日） 12:00 - 20:00

オープニングレセプション：7月8日（金） 17:00-20:00

トークショー：7月8日（金） 17:00-18:00 飯沼英樹 x 青山悟（アーティスト）

会場：XYZ collective (東京都世田谷区弦巻 2-30-20 1F)

■ 飯沼英樹 「美女」

SNOW Contemporary では7月8日（金）から24日（日）まで、飯沼英樹の日本における初の個展「美女」を開催いたします。

1975年生まれの飯沼英樹は、愛知県立芸術大学大学院卒業後、ナント国立美術大学（フランス）に入学。同学のヨーロッパ高等教育交流プログラム（ERASMUS）によりコペンハーゲン（デンマーク）、ミラノ（イタリア）、カールスルーエ（ドイツ）に留学し、ヨーロッパ各地にて個展やグループ展に出品、長らくヨーロッパで活躍していた木彫作家です。

今年2月に3331 Arts Chiyodaにて開催されたアートフェア「TOKYO FRONTLINE」では、蛍光ピンクの壁を背景にブースをファッションショーのランウェイに見立てて展示するという、強烈な世界観で日本での鮮烈なデビューを飾り大きな話題をよびました。

飯沼英樹の作品にみられる共通した特徴として、粗く彫られた木肌の質感が挙げられます。スケッチや下絵におこすことなく頭の中で形態のイメージを反芻し制作された作品は、繊細に彫られた箇所と、さくれや節が生々しいざっくりした彫り跡の両面が混在し、鑑賞者の想像力をかき立てる絶妙なバランスを保っています。ファッション雑誌に掲載される女性や、東京の街を歩く一般女性のスナップショットをモチーフに制作された作品は、いずれもファッションに意欲的な今を生きる女性達であり、現代の社会とのつながりを強く感じさせます。

また飯沼は自身で作品を撮影する際、ホワイトキューブではなく街中や自然を背景に選びます。本人には写真作品という意識はなく、木彫のイメージをよりわかりやすく伝えるために選択した手段ですが、「今」を捕えた飯沼の作品はどれも驚くほど現代社会の風景に溶け込み、新鮮な相乗効果を生み出しています。

このたびの日本での初個展では、飯沼は原点に立ち返り、作品に宿るべき「美」をひたすらに追求しています。飯沼を制作へと突き動かす情熱は、飯沼の考える「美」を形に表現するというシンプルな欲求です。それは人間の理想像を追い求めるピュグマリオン的価値観からくるものではなく、価値観が多様化する現代の「社会」に生きる作家が自ら考える「美」のあり方を、作品という形で提示するものです。

長らく海外を中心に活動を続けてきた飯沼英樹の、満を持しての国内初個展となる「美女」に、どうぞご期待ください。



Friends, 2010, camphor, h66x45x18cm

「コンテンポラリーアートの面白さは、「視覚プレイ」と「頭脳プレイ」がどのようにして組み合わせられているかによって決まる。極論すれば、ただ単にヴィジュアル的な面白さ、工芸的な見事さだけでは、新しい価値生成とは言えない。情報エネルギー、そして物質の「変換」(トランスミッション)がいかに行われているか。そこが一つの判定基準になるといい。

飯沼英樹の作品は、このコンテンポラリーアートの今日的な条件を見事に達成している。街頭で「盗み撮り」された女の子たちの画像は、多くのケイタイで撮影された写真と「共有のまなざし」をもち、そしてそれが古典的な(原初的な)木彫へと変換される。それは、同時代の流動性や刹那へのダイブでありながら、時間を超えた「所有のよろこび」を人々に与える。

アートという「変換」の面白さを見事に体現する飯沼英樹は、間違いなく、時代のフロントラインを切り開く重要な作家に成長するだろう」

後藤繁雄(京都造形芸術大学教授 / アートフェア TOKYO FRONTLINE ディレクター)

「意図的に稚拙さが残された木彫の表層は、美しい女性に対する彼の欲望を成就させることがない代わりに、畏怖にも似た憧憬のみを強調する」

青山悟(アーティスト)

「飯沼英樹は、何百年と続く日本の伝統的な木彫を習得したマイスターであり、彫刻に生命を吹き込む作家として展覧会に招待された。彼はファッションショーやモード雑誌、あるいは街を闊歩する女性を潜在的なモデルとし、作品化する。印象的なポーズをとり、キャリア志向だが同時にセクシーであることも忘れない現代的な女性を見事に表現している」

2010年3月24日「Tages Anzeiger」誌

■ 展覧会情報

「美女」

会期：2011年7月8日（金）～7月24日（日） 会期中無休（入場無料）

時間：12:00 - 20:00

会場：XYZ collective (東京都世田谷区弦巻 2-30-20 1F / <http://xyzcollective.org/>)

t e l : 03-5799-4912



XYZ collectiveは、7月2日に世田谷区弦巻にてグランドオープン予定のアーティスト・ラン・スペースです。SNOW Contemporaryの他、レコード・映画・アートブックなどのアーカイブを取り扱う「レコード&16mm(仮)」と「BOOK SHOP YAMATO」が集うオルタナティブスペースと若手アーティストのスタジオで構成されています。今後SNOW Contemporaryは、XYZ collectiveにて所属アーティストの展覧会やイベントを定期的で開催してまいります。

◇関連イベント

- オープニングレセプション：7月8日（金）17:00-20:00

- トークショー：7月8日（金）17:00-18:00 / 飯沼英樹 x 青山悟（アーティスト）（入場無料）

東京展終了後、本展は金沢のアートスペース SLANT に巡回いたします。

お近くにお寄りの際は、是非あわせてご覧ください。

※ 展示内容は、東京展とは若干異なります。

「美女」

会期：2011年7月30日（土）～8月14日（日）月曜日定休（入場無料）

時間：12:00 - 20:00

会場：SLANT (石川県金沢市広坂1-2-32 北山堂ビル2F / <http://www.slant.jp/>)

t e l : 076-225-7746

◇関連イベント

- オープニングレセプション：7月30日（土）16:00-

- トークショー：7月30日（土）16:00~17:00 / 飯沼英樹 x 秋元雄史氏（金沢21世紀美術館館長）
（入場無料）

協賛：株式会社福光屋

■ 飯沼英樹 略歴

◇主な個展

- 2010 マリアン・クラマー・プロジェクト (オランダ)
- 2006 ファビアン&クロード ワルター ギャラリー (スイス)
- 2005 エルンスト・バルラッハ賞 展覧会 (ドイツ)
ファビアン&クロード ワルター ギャラリー (スイス)
- 2004 ギャラリー コーネリウス・ブレーザー (ドイツ)
- 2003 ヴィギリウス マウンテンリゾート (イタリア)
ギャラリー コーネリウス・ブレーザー (ドイツ)
- 2002 メゾン・ピラウド美術館 (フランス)
ギャラリー コーネリウス・ブレーザー (ドイツ)
ジェンティユ礼拝堂 (フランス)

◇主なグループ展

- 2011 「TOKYO PARIS ROTTERDAM」 Museum Tongerlohuys (オランダ)
- 2010 「Featuring S(outh) E(ast) A(sia) -g27」 ファビアン&クロード ワルター
ギャラリー (スイス)
- 2009 「Uit Japan」 ライデン大学メディカル・センター (オランダ)
- 2008 「Global Nomads」 タニャ ルンプフ ギャラリー (オランダ)
- 2007 「Bird Watching」 De Vishal (オランダ)
- 2004 コンクール ジュンヌクレアシオン、パリ (フランス)
国際彫刻シンポジウム (ドイツ)
- 2003 エーシービーギャラリー (ハンガリー)
- 2002 レンヌ ビエンナーレ (フランス)
国際彫刻シンポジウム (ドイツ)
コレクティブ125 (フランス)

◇受賞

- 2005 エルンスト・バルラッハ賞 (ドイツ)
- 2004 一等賞 国際彫刻シンポジウム、マルクノイキルヘン(ドイツ)
- 2001 フランス政府給費留学奨学金
- 1999 財団法人イノアック国際教育振興財団奨学金

■ お問い合わせ - 展覧会内容については、こちらまでご連絡ください。

▶東京展 (XYZ collective)

SNOW Contemporary

〒154-0018 東京都世田谷区弦巻2-30-20 1F

tel & fax : 03-5799-4912 / 090-1303-8983

mai : ishimizu@officekubota.com

hp : <http://officekubota.com/snowcontemporary>

担当 : 石水 美冬 (いしみず みふゆ)

* 展覧会に関する画像は、石水までご連絡ください。

▶金沢展 (SLANT)

SLANT

〒920-0962 石川県金沢市広坂 1-2-32

tel : 076-225-7746 / 090-2152-8758

mail : atic.ichikawa@gmail.com

hp : <http://www.slant.jp/>

担当 : 市川敦子 (いちかわ あつこ)

SNOW
contemporary

 SLANT

以上